

「バイタリティと独創性」 ―校長面談より―

今年も残すところあとわずかになりました。一年を振り返り、数々の素晴らしい成果や残された課題を整理しつつ、新年に向かって、心身の養生を図りたいところです。

さて、今月初めから、自分の考えや想いを堂々と表現する力を養い、いじめや差別のない理想の学校の創造をねらいとして、昼休みに校長面談を始めました。

面談で問う内容は、「自己PR」と「船中をもっと素晴らしい学校にするためのアイデア」の二つ。三人一組のグループ面談としました。

ほとんどの生徒は、緊張し硬い表情で、ありきたりでさし障りのない応えを返してきます。少々物足りなさを感じるとともに、船中生の課題を再認識しているところです。

自分を売り込むバイタリティと他にはない独創性。これから一層厳しくなっていくだろうこの世の中を、たくましく生きて行かなければならないこれからの青年たちには、どちらも欠かすことのできない力です。

統合まであと一年余り。今の船中生には、曇りのない透き通ったその笑顔とともに、これらをも求めていかなければならないと思います。希望と志を高く掲げ新年を迎えたいものです。

一年間ありがとうございました。良いお年をお迎えください。